

風圧荷重種別の選定の考え方について

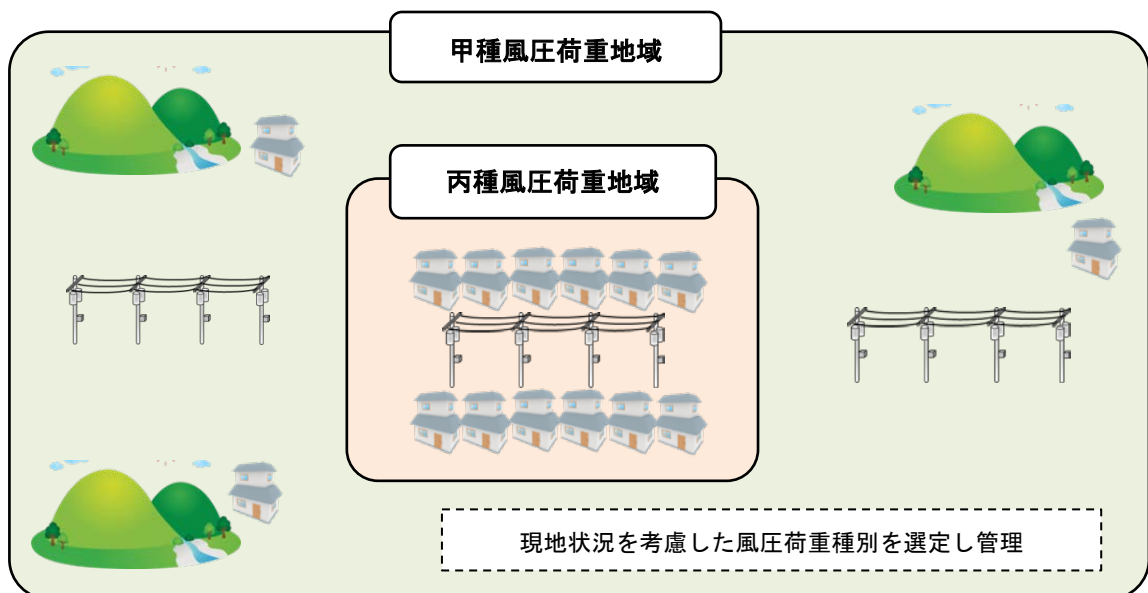
社内ルールで、風圧荷重種別（甲，乙，丙など）選定の考え方を定めており、現地の状況が人家等による風の遮へい効果を期待できる場合は、甲種に代えて丙種を適用できるとしている。

【主な風圧荷重種別の例】

- 甲種……平均風速40 [m/s] の風があるものと仮定した場合に生じる荷重
- 丙種……人家が多く連なっている場所等において、甲種風圧荷重の1/2の風圧を受けるものと仮定した場合に生じる荷重
(平均風速 約28 [m/s] に相当する風圧)

(参考)

乙種……氷雪の多い地方で選定する種別



以上